

耐震補強は現場調査から

現在、国と東京都、そして足立区で耐震補強工事の助成推進を行っています。耐震補強を設計するには、まず現場調査。先日近所の設計士さんの依頼で、現場調査のお手伝いをしました。昭和40年代の建物との事で、助成の対象となる昭和56年5月31日以前の建物といえます。調査は、図面通りに柱があるか、筋交いは入っ



設計士さんと打ち合わせの上、床下に潜る

ているか、基礎は有るのかなどを全ての部分について調べます。もちろん写真の様に床下に這いつくばっての作業となります。屋根裏も同じ。正確に調査をします。そしてその調査に基づいて、補強方

法を設計します。万が一、調査だけで耐震補強を断念する場合がありますが、その場合でも足立では耐震診断に10万円の助成金が出ます。耐震診断と設計は、総額15万円なので施主さんの負担は5万円となります。(ちなみに耐震補強工事の助成金は足立区では80万円出ます。)そして診断の結果、補強となるのですが、予算の関係で全部の工事が出来ない場合も多々あります。でもその場合でもないように応じて助成金は出ます。たとえば瓦屋根を軽い金属屋根にするだけでも対象になります。安心した日々を過ごすためにも、せめて耐震診断だけは受けておきたいものですね。



柱を確認後番号を書いて写真を撮る